

# 「実習教育に ICT を活用することで見えてきた 効果と課題」 ～コロナ禍での社会福祉教育と アクティブラーニング～

東洋大学社会学部社会福祉学科 藤林慶子



# 東洋大学における相談援助実習を代替授業と決定するまでの経緯

- 2020年2月頃から、社会福祉士資格取得のための科目であるソーシャルワーク実習（本学科目名称）をコロナ禍においてどうするかについて、東洋大学社会学部社会福祉学科（白山）と東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科（朝霞）の教員で、2020年度の実習のあり方の検討開始
- 2020年2月28日 文部科学省高等教育局、厚生労働省社会・援護局等による「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」において、「実状を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして差し支えないこと」
- 2020年4月13日 ソーシャルワーク教育学校連盟が、「私たちソーシャルワーク専門職を養成する教育団体としては、ソーシャルワークの支援を必要とする利用者の生命を第一義に考え、利用者の権利と最善の利益を守るため、当面本年6月末日まで、実習先となる社会福祉施設・医療機関等の実習受入れに関する意向にかかわらず、学生の実習実施を見合わせることを、本連盟から会員校にお願いすることといたします。」という会長声明を公表
- 2020年4月16日 本学科実習委員会においてソーシャルワーク実習は中止と決定
- 2020年4月20日 学科会議においてソーシャルワーク実習の中止を承認⇒これ以降、朝霞の生活支援学科と協力して実習代替授業委員会を開催



# 相談援助実習代替授業の検討事項

- 1 厚生労働省「大学等で開講する科目の確認に関する指針」における相談援助実習の「教育内容 ねらい、教育に含むべき事項」をどのように入れるか
- 2 相談援助実習180時間分の配分をどうするか
- 3 学生からの課題等の提出や確認方法をどうするか
- 4 いかに関相談援助実習を理解できる代替授業とするか



# 1 厚生労働省「大学等で開講する科目の確認に関する指針」における相談援助実習の「教育内容 ねらい、教育に含むべき事項」（以下含むべき事項）をどのように入れるか

- 本学の実習代替授業の段階を、1)事前学習、2)ソーシャルワーク基本実習①～⑩とその予習復習、3)ソーシャルワーク考察実習①②とその予習・復習、4)ソーシャルワーク考察実習③④とその予習・復習、5)ソーシャルワーク考察実習⑤⑥とその予習・復習、6)ソーシャルワーク参加実習基礎編①～⑧とその予習・復習、7)ソーシャルワーク参加実習専門編①～⑮とその予習・復習、8)事後学習とし、それぞれ厚生労働省の含むべき事項の内容との対応表を作成し、内容を確定
- 自習中心型事前事後学習、オンラインで行う同時双方向型講義、録画配信(オンデマンド)型講義、資料配信型講義、録画配信(オンデマンド)型・資料配信型予習復習



## 2 相談援助実習180時間分の配分をどうするか

- 相談援助実習の配属実習時間180時間=1コマ90分とすると、120コマに相当する
- 前頁の1)～8)の時間数を決定



### 3 学生からの課題等の提出や確認方法をどうするか

- 東洋大学では、数年前から教育支援システム manaba（本学名称 Toyonet-Ace）を使用

<https://manaba.jp/>

- 実習は、毎日の課題等を設定し、上記のToyonet-Aceに提出
- RESPON（出席確認）も毎日時間を設定し、提出させ、実習の出席に相当させる
- 教員は、提出された課題等に対応⇒毎日の課題チェック



## 4 ickani kankanshoboshu jishu wo rikai dekiru daigai kyugyo to suru ka

- shohakushu no kankanshoboshu jishu wa, jishu senbubetsu ga ooku, sorezore no jishu sen de jishu neiryaku ga iginaru = sorezore no subete wo jishu daigai kyugyo de wa, fooro dekinai
- shouryaku wo manabu jishu de wa aru ga, sono subete wo jishu de kengen dekiru to wa imarainai (reiba, jishu sen no mentshou doujaku ya hokan doujaku ga dekinai jishu sen ga aru) = mentshou ondemando onrain shugyaku ga dekinai
- mikro kara makuro made no shouryaku wo ikani rikai saseru ka ga kakuwa = Youtube douga ya kyuuin ni yoru ondemando kougou, genjyou no shohakushu ni taisuru intabiyuu douga etc. wo kakuwa shita ga, jufun to wa ienakatta



# 実習教育に ICT を活用することで見えてきた効果 と課題 1

- 学生が講義で実習先種別をあまり理解できていない⇒それを理解させるための動画等が少ない
- ソーシャルワークの範囲が広いため、どこに焦点を当てるかが難しい
- ICT活用のイメージが社会福祉教育の中で十分に検討されているとはいえない  
⇒WEBEXやZOOMの活用=ICTというイメージ
- 社会福祉教育における社会福祉士国家試験科目としての相談援助実習、相談援助演習、相談援助実習指導はアクティブラーニングだが、事例検討の学習が主となっており、学生側にアクティブラーニングという意識が少ないのではないか？
- 1クラス20名で、複数クラスで上記の相談援助演習、相談援助実習指導を行っているが、教員間の平準化が課題



# 実習教育に ICT を活用することで見えてきた効果 と課題 2

- 相談援助実習教育は職場実習、職種実習、ソーシャルワーク実習の3段階で行うことが日本社会福祉士会から提示されている
- 上記の3段階を理解させる教育が、実習前にも必要であり、そのためのツールが必要⇒今回作成したオンライン教材のようなものを作成することが必要

